【国東市教育委員会教育長賞】

豊かな生活と税の関わり

国東市立国東中学校　三年　宗安　優奈

私は今まで税金という言葉は知っていましたが、難しいイメージがありました。そこで、税について調べてみると私たちの生活は、税金によって支えられていることを知りました。

まず最初に驚いたのは、病院での支払いのことです。私たちが住んでいる国東市は産まれた赤ちゃんの時から高校生まで「子ども医療費受給資格者証」を見せると、診察代と薬代が税金でまかなわれていることを知りました。費用を気にせずに安心して医療が受けられることにとても感謝していると、お母さんが話してくれました。

他にも税金によって成り立っているものがたくさんありました。例えば、私たちが毎日通っている学校の校舎や、毎日使っている教科書です。教科書は税金を使って無償で支給されています。こうして当たり前のように充実した勉強が出来るのも税金があるからなのだと思いました。

また税金は、公共事業の確保にも使われています。でこぼこな道路をなおしたり、災害復旧の整備など、私たちの生活や安全を守るために使われていることがわかりました。

調べていくうちに、課題もあることが分かりました。それは、少子高齢化問題です。私たちが働くようになった頃には今よりも、高齢者が増えて高齢者を支える側の働き手とのバランスが崩れてしまうそうです。未来を見据えた納税をすることも必要なのかなと思いました。

これからは、税のことに関心をもち、税金の大切さやありがたみを十分に理解して、それを伝えられる人になりたいです。そして、大人になったらしっかり税金を納めて、世の中を支える人になりたいです。